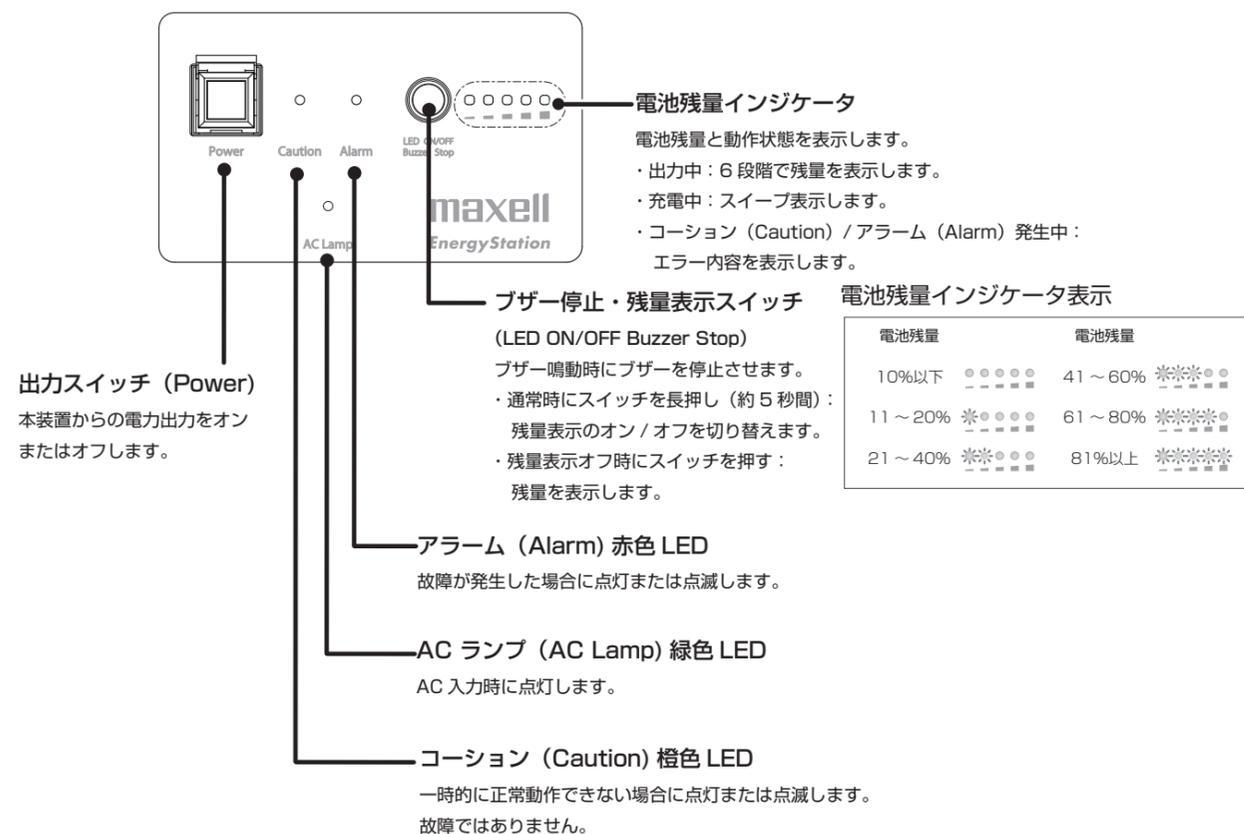


EnergyStation type T 簡易取扱説明書

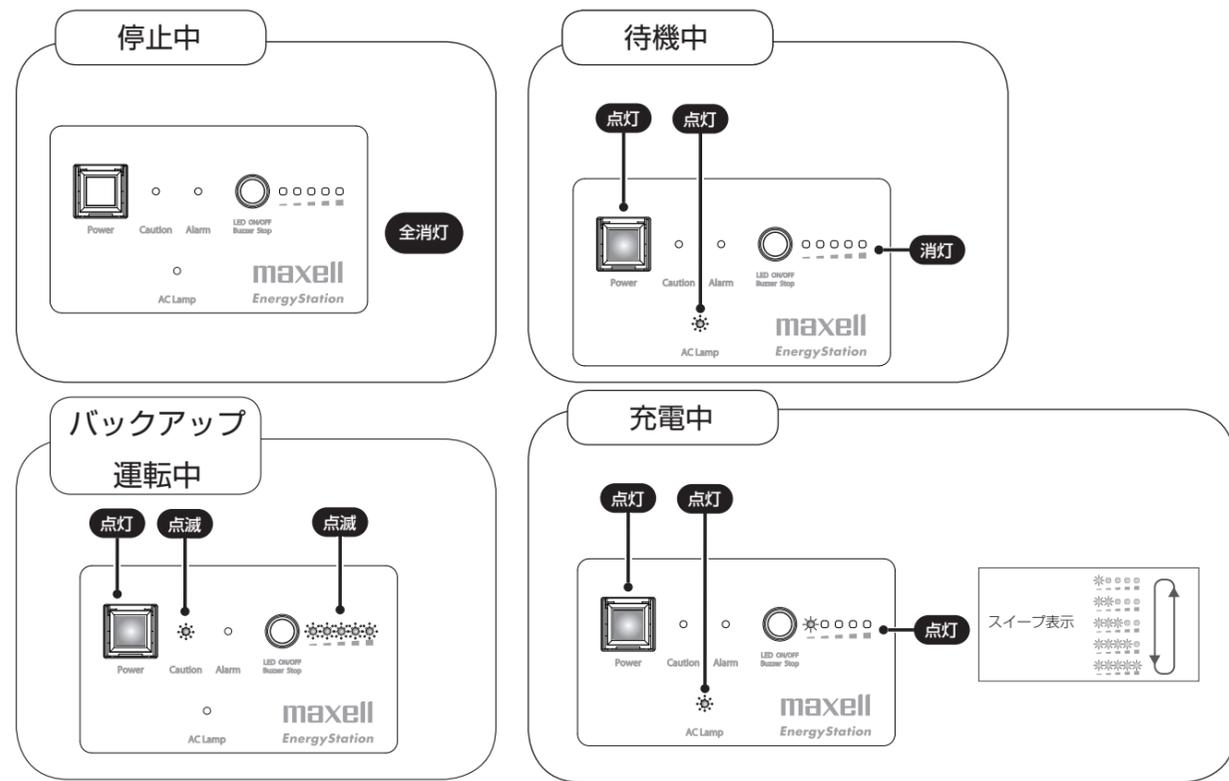
エナジーステーション タイプT

品番：SES080T-056E

この装置について

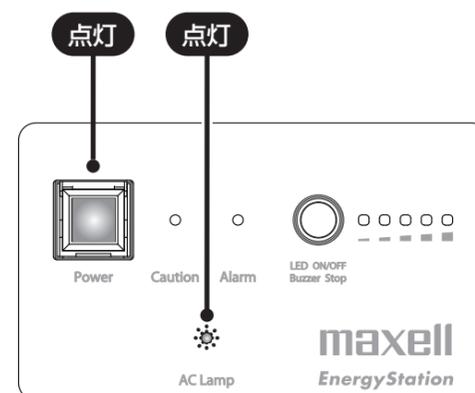


操作パネルランプ表示の見かた



メンテナンスについて

1回/日以下の点検を行ってください。(運転時 LED の点灯状態確認)



- ①左図の状態 ⇒ 正常
- ②コーション LED もしくはアラーム LED の点灯 / 点滅 ⇒ 取扱説明書をご確認いただき復旧してください。それでも変化がない場合は、マクセルサポートセンターまでご連絡ください。

TEL:0120-977-282

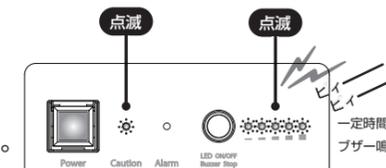
IP 電話の場合、上記番号が繋がらない場合 TEL:03-3432-3188

(受付時間) 9:00 ~ 21:00 (365日)

電話番号、受付時間は変更になることがあります。

1回/年以下の点検を行ってください。(停電時の動作確認)

- 1 停電時の電力供給が確認できるように適当な機器 (スタンド、モバイル充電器等) を接続しておいてください。
- 2 AC入力プラグをコンセントから抜きます。
- 3 操作パネルのコーション LED が点滅し、ブザーが鳴ります。電池残量が一定以上ある時は、自動的に内蔵電池からの出力に切り替わります (バックアップ運転)。
- 4 本装置出力先コンセントから電力が供給されているか確認してください。
- 5 AC入力プラグをコンセントに差し込みます。AC ランプ (緑色) が点灯します。



使用環境温度

※使用環境：周囲温度 0℃ ~ 40℃ でご使用ください。

それぞれのモードで本体内部が高温になると以下の警告が表示されます。

<充電モード>

温度 (℃)	コーション / アラーム表示	電池残量インジケータ	出力	自動復帰	手動復帰
45 ~ 70	Caution 点灯	左から 2 番目点灯	ON	可能	-
		左から 2 & 3 番目点滅			
		左から 2 & 4 番目点滅			
70 以上	Alarm 3回点滅の繰り返し	-	OFF	不可	可能

<バックアップ (停電) モード>

温度 (℃)	パネル表示	出力	自動復帰	手動復帰
52 以上	全消灯	OFF	不可	可能

手動復帰方法：
内部温度回復後、出力スイッチ (Power) OFF/ON

過負荷時の表示について

※合計負荷 800W 以上使用すると過負荷になります。

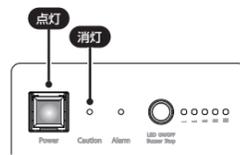
消費電力が 800W を超えている場合（通常時）

消費電力が 800W を超えている場合（停電時）



コーション LED の点滅が消えるまで、接続機器（消費電力）を減らしてください。

消費電力が 800W を超えていない場合

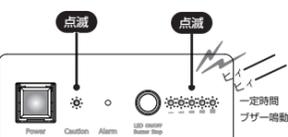


※停電時に過負荷発生から 1 分以内に接続機器（消費電力）を減らすことができなかった場合、ブザーが鳴動し出力を停止します。

接続機器（消費電力）を減らし、出力スイッチ（Power）をオンにしてください。

停電時の操作

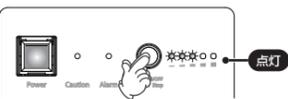
停電発生



Caution LED：点滅
残量インジケータ：点滅
一定時間ブザー鳴動

ブザーを停止したい場合

ブザー停止スイッチを
1 秒以上押し

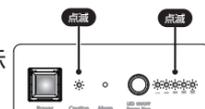


不使用時の電池消費節約操作

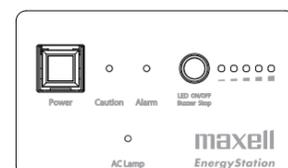
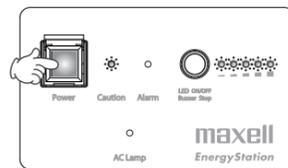
不使用時は本装置の出力を停止することで、内蔵電池の消費を大幅に節約できます。出力を停止する前に接続機器の電源をすべてオフにしてください。

出力スイッチ（Power）をオフにすると自動的に全ての接続機器への通電は停止されます。

1 停電時のパネル表示は以下ようになります。
コーション LED と電池残量インジケータが点滅表示
します。



2 出力スイッチ（Power）のカバーを開きスイッチをオフにします。
LED が消灯し、出力を停止します。



再度使用したい場合・・・

出力スイッチ（Power）のカバーを開き、スイッチをオンにします。

※起動時に必ずブザー音が鳴りますが異常ではありません。

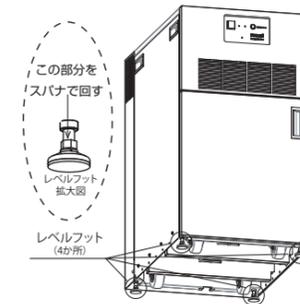
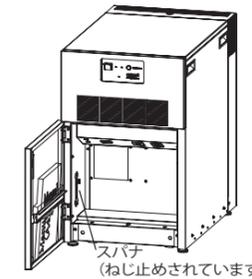
本機を移設する場合

1 出力スイッチ（Power）のカバーを開きスイッチをオフにします。

2 出力側、入力側共に全てのケーブルを外します。

ご注意 ケーブルが接続された状態で本装置を移動すると怪我や故障の原因となります。

3 レベルフットを付属のスパナで回して解除します。



4 移動します。（移動距離が長い場合、台車に乗せて移動してください。）

ご注意 怪我を防止するため、作業は複数人で行ってください。
レベルフット破損防止のため床に段差がある場合は、持ち上げる等で移動させてください。

5 レベルフットを付属のスパナで回して固定（設置）します。

- ご注意**
- 本装置を仮置きする場合はその下に養生を行ってください。
 - 落下厳禁です。落下させた場合は据付しないでください。内蔵電池が内部短絡して発煙・発火の原因になります。
 - 本装置は横置き禁止です。横置きすると冷却用 FAN の空冷効率が低下し温度異常が発生する原因になります。
 - 本装置の質量（約 100 kg）に十分耐えられる場所に設置してください。
 - AC ケーブルに足を引っ掛けないようにケーブルを配置してください。
 - AC ケーブルの入力側は延長コードによる途中接続やタコ足配線しないでください。
 - 分電盤の分岐ブレーカは独立した回路を割り当ててください。回路が独立していない場合では、蓄電装置の過負荷保護機能が働く前に分岐ブレーカ側の過電流検出の方が先に働き停電検出されることがあります。
 - AC ケーブルの両端は確実に差込み接続してください。
 - AC ケーブルのプラグにはアース線なし 2 極変換アダプタを使用しないでください。

本取扱説明書は下記 URL からご覧いただけます。

http://biz.maxell.com/ja/energy_station/pdf/Energy_TypeT_InstructionManual.pdf

※上記 URL は予告なく変更になる場合もあります。ご了承ください。



DSS0016-00